



感謝の気持ちを込めて。

平成27年度卒業生 奈良教育大学音楽教育専修 西谷 湖雪

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。

これから始まる四年間は、自分自身と向き合うことのできる、これまで努力してきた皆さんにとってのご褒美のような期間だと思います。自由な時間が増え、自分で判断や決意をする場面も増えます。一歩挑戦することで、大きな力や結果を得られる可能性があると思います。

どうか皆さんそれぞれにとって、実りある四年間になりますように。

私は部活は吹奏楽、サークルはアカペラ、あとは毎年参加するオペラ、と音楽漬けの大学生活だったのですが、それらを通してたくさんの人と繋がれたおかげで、学んだことがあります。 そのうちいくつかをお伝えしたいと思います。

一つ目は、「どんな自分も、かけがえのない自分である」ということ。

楽しいことがあれば悲しいこともある人生です。悔しがる自分がいたり、怒りを感じてしまっ自分がいたりもします。

でも、悲しみがあるから嬉しいことがすごく嬉しかったりすると思うんです。どんな自分も自分で認めてあげてください。自分で自分を許し、愛してあげてください。

そんなあなたを必要としている人や、あなたに支えられている人は必ずいるはずです。

二つ目は、「大切なものは、目に見えない」ということ。

皆さんにとって宝物って何でしょうか？ 大学は、宝物を手に入れられる場所になるはずでず。本音で話せる友達との絆や、仲間との信頼関係、かけがえない思い出など、今しか手に入らないものがたくさんあると思うんです。

目に見えない、かけがえのない大切なものを皆さんの力で手に入れてください。



もう一つだけお伝えしたいこと。私は、音楽をやりたいという気持ちだけで大学に入学しましたが、私の夢の一つである「幸せな家庭を築く」という目標に向かって、素敵な母親になるために教育にまつわる授業をきちんと受けてみようと思いました。

現段階で教員という職業に魅力を感じている人はもちろん、まだ就職についてピンときていない人もいます。でも、大学で色々な人と会うことで見えてくるものがあると思うんです。

だから自分の可能性を自分で制限してしまわないよう、たくさん挑戦して、たくさんの人と出会って、たくさんの感動を手に入れてほしいと思います。

色々なことを乗り越えてきたであろう皆さんならきっと素敵な四年間になるでしょう。応援しています。

私自身、この大学でたくさんの方々に関わらせて頂いて、大好きな音楽の楽しさや喜びを今度は伝えていくという幸せなお仕事に就けることになりました。

奈良教育大学に入学でき、卒業できること、本当に光栄に思います。先生方、先輩方、同回生や後輩の皆さん、関わってくださった全ての方々に感謝しております。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、いつも優しく見守ってくださり、卒業に際して、このような機会をくださった保健センターの先生方に、心より御礼申し上げます。

